

日本共産党千葉市議団コロナ対策改善状況（医療）

	要望事項	進展・改善事項
医療 1	介護施設、老健施設等にマスクなど感染予防用品が行き渡るよう対策を強めること。	マスクを高齢者施設に約 11 万枚、障害者施設に約 7 万枚提供。
医療 2	陽性者が自宅待機する場合に、家族への罹患が懸念されるため、隔離できる施設を整備すること。またホテル等の利用をする際の費用を負担すること。	バーディーホテル千葉で約 120 名のコロナ感染症無症状や軽症者の受け入れ開始。
医療 3	千葉市国民健康保険条例を改定し、傷病手当の支給を行うこと。	千葉市国民健康保険に加入している被用者のうち、新型コロナウイルス感染症により労務に服することができなかつた方に傷病手当金の支給を開始。
医療 4	子どもルームでの感染リスク低減のため、マスクや消毒液に不足が生じないよう手立てを講じること。	保育施設・子どもルーム等に、マスク約 9 万枚提供。
医療 5	新型コロナ対策にあたる医療機関も、一般の医療を続ける医療機関も、受診抑制による深刻な減収に直面しており、地域の医療提供体制を維持するための財政的支援を緊急に行なうこと。介護施設への補償をすること。	新型コロナウイルス感染症に対応する医療・介護従事者等を支援するため、市内の医療機関等を対象に支援金を支給。支給金額 10～500万円／か所
医療 6	市立病院の医師や看護師全てのスタッフに対して、危険手当を支給すること。	新型コロナウイルス感染症に対応する業務に従事した市立病院職員に対し特殊勤務手当を支給。 1勤務あたりの 手当額 3,000円 直接接触する 業務 4,000円
医療 7	青葉病院で PCR 検査拡充すること。	青葉病院にランプ方式検査機器を導入。保健所依頼以外でも、患者や医療従事者などを検査。7月末まで 400 件の検査実施。